

稲田保育園

# 健康だより

H26年夏号

19日(土)に行われた盆踊り大会は、天候には恵まれませんでしたが、皆様に御協力していただき、盛大に行うことができました。ありがとうございました。

蒸し暑い日が続いています。そんな中でも子ども達は、プールで水と触れ合ったり、園庭を駆けまわったりと元気いっぱい笑顔を見せてくれています。ご家庭と園とで子ども達の健康に留意しながら、夏ならではの遊びがたくさん出来るようにしていきたいと思えます。

この夏、旅行など遠出の計画を立てているご家庭も多いかと思いますが、外出先では怪我や熱中症にも注意しながら、楽しい夏の思い出をたくさん作ってきてください。

## 夏に罹りやすい「とびひ」



### <原因>

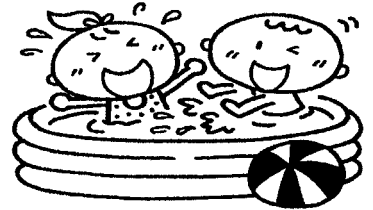
・虫刺されや湿疹をかきむしったあとに感染して起こる。

### <症状>

- ・皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけた状態になり、強いかゆみを伴う。
- ・放っておくとあつという間に広範囲に広がる

### <治療>

- ・ごく初期の段階では塗り薬のみの治療だが、大抵の場合は抗生物質の内服と塗り薬の両方での治療。



★「とびひ」は登園停止の病気ではありませんが、罹ったお子さんおよび他のお子さんへの感染防止のために以下の事をご協力して頂いています。

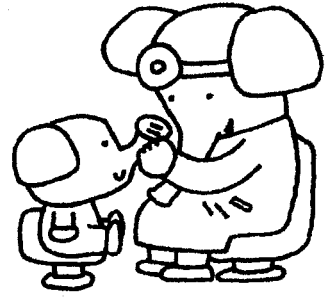
- ・医師の指示に従いしっかり治療しましょう。途中で治療を中止するとぶり返します。
- ・洋服で覆えない「とびひ」の部分は絆創膏等で被いましょう。
- ・治療するまで水遊びは控えて頂きますのでプールカードの記入は「×」をお願いします。

※ 医師の指示、治療の内容によっては、対応が異なる事もあります。個々に御相談して下さい。

8月7日は・・・「鼻の日」です！

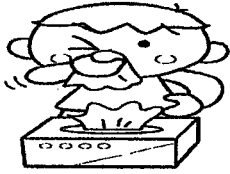
## 鼻を大切に・・・

鼻は、呼吸の出入り口であり、ウイルスや細菌が体に侵入するのを食い止める役割を果たしています。また、耳やのどとつながっているため、鼻の症状を放置しておくと、中耳炎やのどの炎症など、ほかの器官に症状が広がることもあります。鼻を健康に保つために十分配慮しましょう。



### ①鼻水が出る

- 鼻水はまめにかみましょ  
う。(まだ、鼻がかめない  
お子さんはきれいにふき  
取りましょう)



### ②鼻水が長引く

- 耳鼻科、または小児科  
を受診し、適切な治療  
を受けましょう。



### ③鼻づまり

- 鼻の粘膜がはれるために起  
こります。呼吸がしづらく  
苦しそうな場合は、病院で  
吸引してもら  
うと少し楽に  
なります。



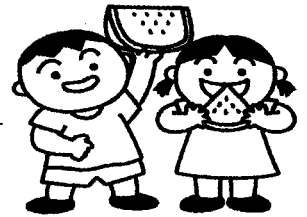
## ボタン電池の誤飲に注意！



ボタン電池は、誤飲時に食道にとどまり、放電の影響によって短時間（僅か1時間）でも潰瘍ができて穴が開いてしまうなどの重篤な症状を生じることがあり、場合によっては死に至るなど大変危険です。間違っても飲んでしまっても、ウンチで出てくる大丈夫！と様子はみではいけません。すぐに受診し、適切な処置をうけましょう。

但し、一番大切なのはもちろん事故が起きない環境づくりです。また、説明して理解できる年齢になったら、子どもに危険であることを伝えていきましょう。

※詳しくは消費者庁のホームページに掲載されています。



## 6月の感染症

- 咽頭結膜熱（プール熱） 1名
- ヘルパンギーナ 1名
- 手足口病 2名
- アタマジラミ 7名

→ 登園許可書が必要です

登園許可書は不要です。水遊びの際に記入する「健康カード」については通常通り、お子様の体調に応じた記入して下さい。但し、アタマジラミについては、駆除期間（約2週間）は△程度の活動とさせていただきます。

※ アタマジラミは清潔にしているでも罹ってしまいます。アタマジラミが確認されたお子さんについては園医から指導を頂いた駆除方法を保護者の方にお知らせして御協力を頂いております。保育中はクラス内の発生状況により定期的に頭髮チェックを行っている状況です。

